

## 大生院校区まちづくり懇談会 開催結果報告書

開催日時	平成29年7月10日（月曜日）	19時～20時30分
場所	大生院公民館	
司会・進行	近藤連合自治会長	
参加者数	男 58人	女 12人 合計 70人



### 1. 市の重点事業の説明

#### 参加者からの質疑

(質問者)

防災施設について、渦井川の西側には小学校、中学校、公民館があるが、渦井川が氾濫した場合、東側の人は渦井川を越えて施設に行くことができない。前にも述べたが、大生院の市営住宅が老朽化しているので、市営治良丸南団地が3階建ての団地を建てているが、あのようなものを建てて広場をつくり、そこへ渦井川の東側の人が災害が起こった場合に行くことができるような拠点施設をつくってほしい。たぶん遅かれ早かれ今の九州ではないがああいうことが起きると思う。渦井川は平成16年に氾濫しそうなところまでいったので、そういうことも考えていただきたい。

(市長)

このご意見は過去にも出ており、今のところ東側には適当な場所がないのだが、自主的な避難場所として、自治会館等も申し出ただけであれば使えるようになっているので、地元の方とも協議して、当面は自治会館等を活用する方法をまず考えた上で、拠点施設についてはその後検討させてほしいと思っている。

(質問者)

がん検診について、75歳からは無料にならないということだが、75歳から切り捨てることにメリットはあるのか。年をとったらなかなか検診を受けなくなっていく中で、75歳を境に面倒を見ないというのは腑に落ちないがいかがか。

(市長)

その話は初めて聞いたが、75歳以上になるとだめなのか。

(福祉部長)

40歳以上は大丈夫である。

(市長)

75歳でも大丈夫である。がん検診は、40歳以上であれば年齢は関係ない。確認して連絡するようにする。

(質問者)

防災関係で、地震については新居浜市もいろんなマップをつくっているが、最近、九州北部の集中豪雨で、大きな河川以外の支流が氾濫する。大生院にもいろんな小さい川があるが、そういう河川は集中的にどれくらいの雨量となれば氾濫するか検討しているか。例えば、新居浜であれば国領川とか渦井川以外の小さい河川について、降水量がこういう状況なら避難すべきといったような検討をしているのであれば説明していただきたい。

(市民部長)

豪雨に対する市の判断基準について、新居浜市で何箇所か雨量計があるが、その雨量がどういう状況にあるかということで、新居浜市に大雨警報、洪水警報が出ると水防本部が設置されて雨量等の情報を収集する。その状況を判断して、災害が起こる可能性がある場合はまず避難勧告を出し、次に避難指示を出す。河川によって違うが、新居浜市の雨量がこれくらいになると災害が起こる可能性があるという判断が過去の経験上あり、まず避難勧告を出すのでそのときにいち早く避難していただくということが水防本部がまずやっていることなので、よろしくお願ひしたい。

(質問者)

基本的には、カメラがあるところ以外は何も検討を加えていないということか。

(市民部長)

新居浜市は雨量測定箇所が2箇所ある。そこで、これは経験値だが、こういう状況だと小さい河川に被害が出るかどうかというのがあがるが、費用の面等もあるので、今ある情報の中で避難勧告や避難指示を発令する。これはけっこう早めに出るので従っていただけたらと思う。

(質問者)

だいたい今の九州北部と同じ状況になってしまう可能性が大と考えていいわけか。

(市民部長)

先般から九州北部で水害がたくさん発生しているが、これは大雨警報ではなくもう一つ上の段階の特別警報を気象庁が出している。その前に必ず、大雨警報も出している。新居浜市の場合も大雨警報が出た段階で水防本部を設置するので、もっと早い段階で雨量等も情報収集をしている。避難勧告のほうが先に出ると思う。

(質問者)

学校給食について、センター方式か自校方式かの答えが今年の夏にも出ると言われている。災害のときには真剣に命を守るということを考えると、やはり自校方式がいいのではないかと思っているがどうか。

(市長)

ちょっと議題とは違うが、今現在、議会でもお話ししているように、教育委員会で検討しているので、センター方式か自校方式かがこちらのほうに提案があると思う。それを受けて正式に決定するつもりである。災害については、センターだろうが個別だろうが、対応できるのではないかと私は思っている。

(質問者)

大生院校区の学校給食が質素な設備で素晴らしい成果を上げているのは皆さんもご存知だと思うが、先日、愛媛新聞を読んでいると四国中央市でセンターをするのに3,200食を24億3,000万円で議決したという。新居浜は小中学校あわせて1万人子どもがいて、中学校はセンター方式になっているので、小学校なら7,000食をつくらないといけないと思うが、井谷議員の質問や対市交渉によると2箇所ないし3箇所つくるといふ。これは、かなり高い確率で方針を決めているという感触をもっている。四国中央市の施設から考えて、だいたい50億円いると思う。この50億円というのは市民の税金であり、市長はいつもメリットとデメリットがあると言う。メリットは確かに、このような大型開発は大きな業者でないとできないので、50億円だったら相当儲けるだろうというメリットはあると思うし、市も各学校の面倒を見るのに十何箇所もあつたら大変だが、3箇所か4箇所にしておけば

管理もしやすい。そして、栄養士も半分にできると。そのような現場に則さない方針が出ていると思う。私も約3年前、議員のときに取り上げた。どうして自校方式をやってほしいかという、各団体から15名程来られて、検討委員会が6回くらい開かれて、私はそのとき議員ではなかったが、ずっと傍聴していたら、現場のPTAも調理員も栄養士も学校も、子どもたちの教育のためには今の学校給食を自校方式がいいのでそうしてくださいという話し合いをしたのに、最後の最後、どんでん返しでセンターにするという結論を出した。私は傍聴していて、裏でいったい何があったのかとびっくりした。そのとき、センターになったりして本当につらいと調理員に泣かれたことが非常に印象に残っている。私はそれをもとにお願いしているが、災害のときにセンターからお茶を沸かして持ってきてもらったりできないので、避難所でお茶も沸かせる、みそ汁もつくれる、ご飯も炊ける。それで、私は50億円ものお金は必要ないと思う。地元の業者と市と現場とで知恵を出して、そんなお金をかけなくても、もっと現場の要求に則したことができると思うが、市長、学校給食は自校方式が素晴らしいから泉市政から続けてきた。センター化されたら石川市政の汚点になると私は思うが、本当に現場の、子どもたちの、PTAの意見をアンケートをとるとか何かやってほしいが、答弁をお願いしたい。

(市長)

あまり議題とは関係ないと思うが。

(質問者)

私は防災と大変関係があると思う。

(市長)

無理やりひっつけているような気もする。いずれにしても、センター方式か自校方式かについては、教育委員会でメリット、デメリット、事業費の検討を行い、どちらがいいのかという案が提案されると思う。私としてはそれを受けて、また皆さんの意見を聞きながら、慎重に検討して決めていきたいと思っている。

(質問者)

学校と子どものメリットを中心に判断してくださるようお願いする。

## 2. 校区課題

### ■課題名（下水管の布設について）

(上本郷東自治会)

上本郷東自治会内では下水管が埋設されていない区域がいまだにあり、数件が吸い込み方式による下水処理を強いられている。長年切望している浄化槽設置に向け、平成26年度のまちづくり校区懇談会において要望したが、同年に行われた市道渦井橋大野山線の全面舗装に伴い、3年経過後でなければ掘削ができないとの回答だった。平成29年度で3か年が経過することから、平成30年度での施工を切にお願いする。

(環境部総括次長)

本件については、平成 26 年度に要望をいただき、当時は道路舗装をしたばかりなので、3 年は待っていただきたいとお願いしていた。それから 3 年が経過しつつあるので、下水道建設課において実施に向け準備を進める。ご要望の箇所に下水管を布設する場合は、地形の高さの関係上、西向きにしか排水することができず、現在のところ流入できる下水道施設がないため、放流先としては市道渦井橋大野山線の道路西端にある道路側溝になると思われる。また、施工にあたっては、周辺住民や自治会の方にもご迷惑をおかけするかどうかと思うが、ご協力をお願いしたい。なお、布設後の下水管への接続については、下水道建設課に申請した上で、個人の執行となるのでご理解いただきたい。

### ■課題名 (道路白線引き直しと「止まれ」表示について)

(上本郷西自治会)

上本郷西の渦井川の西側部分の寺道橋から岸影川口線の川口橋付近の道路の幅員のラインが薄くなっている。また、止まれ等の表示が薄くなって消えている。この辺の引き直し、また、一部分、幅員が狭いところがある。広いところから狭いところへの幅員の入口、出口の部分に徐行の表示をしていただきたい。

(建設部長)

まず、外側線について、既に外側線が設置されているところについては、現地を確認したところ劣化が進んでいるので、順次復旧していきたい。また、現在、外側線が設置されていない箇所のうち、道路に沿って蓋のかかかっていない水路のある箇所や川口橋西側のように道路と民地とに落差がある箇所について、通行の安全性の向上のために、今後、外側線の設置を検討させてもらえればと思う。施工時期については、事業予算、他の要望の優先順位を勘案した上で対応させていただければと思う。それから、止まれの表示については、標識ということで新居浜警察署の所管となるため、市から警察へ要望を伝えている。これについては、要望として受け付けるという回答をいただいている。それから、徐行の表示について、徐行も標識ということで警察の所管になっており、徐行という表示を市で行うのは難しい状況である。注意を喚起する表示として減速という形で市で設置させていただければと思う。

### ■課題名 (災害時の避難場所について)

(落合自治会)

先程、話に出たと思うが、土砂災害で川が溢れた場合、落合は東の高台にあり、西の公民館まで下りて来られないので、どこに避難したらいいかを考えてほしい。

(連合自治会長)

落合の自治会長にはちょっと話をしたが、私としては、もし、避難するのならグレース幼稚園が 50 メートルくらいいったところにあり、くすのき園がそれより 100 メートル東に行けばあるので、そういうところが避難場所になる可能性があるのではないかと思う。そちらのほうへ行ったらどうかと言ったが、市ではどう考えるか。

(市民部長)

基本的には先程お話をさせていただいたとおり、避難勧告、避難指示が出たら早めに避難していただくということで、指定場所である公民館、小学校、中学校に避難していただく。もちろん、落合自治会から一時的な避難場所として落合自治会館をお届けいただいているので、そちらの使用をお願いできたらと思う。また、今、連合自治会長からお話があったように、くすのき園については、福祉避難所という指定になっており、一般の方と一緒に最初からというのは大変難しいものがある。グレース幼稚園については民間施設なので、地域でグレース幼稚園さんとお話していただき、都会ではよくビルや病院を地域に開放するという事例もあるので、地元で十分協議していただきたい。市では早目の避難勧告をだすので、指定避難所へ避難していただければと思う。

#### ■課題名（生活道路（私道）の舗装について）

(下本郷西自治会)

下本郷西自治会内では私道の舗装が非常に傷んでいる。例年、要望書を提出しているが、予算の都合上、順番待ちになっている。早期に施工してもらいたいので要望する。なお、付け加えると、35 年前後の宅地部分、これにおいて非常に私道がふえている。大きな団地でも市の規格に入らないので、市が引き取ることができないという問題が起こっている。それで順番待ちだが、1 年くらい経過したら、何年くらい待ったらできるという連絡がほしい。いつできるかわからないということを言われると会員に説明できない。

(建設部長)

私どもも計画的にということと、優先順位の高い順にということと、年度当初から予算要求をして予算をいただいている、そういう中で、いつできるかということは何年も前から明らかにはなかなかできないので、それについてはお謝りするしかない。今、このスライドに映している箇所については、平成 28 年 7 月に要望をいただいたと思っている。実はそれ以前にほかの地域で要望をいただいた箇所については未執行で残っており、今の状況でいうと早く今年度末、もしかしたら来年度の早い時期ということになるろうかと考えている。これくらいしかお返事ができないが、ご容赦いただければと思う。

#### ■課題名（国道 11 号線渦井川西詰交差点への横断歩道の設置について）

(岸影自治会)

国道 11 号線渦井川西詰交差点に横断歩道を設置してほしい。というのは、去年までずっとあそこに信号機をつくってほしいと要望していたが、道路交通法の関係で、信号機から信号機までは 150 メートル以上離れていなければ設置できないという回答だった。自治会で話をしたところ、現在でも 2 車線で横断歩道があり、もしこれが、信号機のない交差点では横断歩道は撤去すると言われたら、ここは 50 年以上横断歩道があったものだから、それを撤去されたら高齢者等が横断歩道がなくても渡る可能性があるので、横断歩道をつけてほしいという要求が自治会からあった。

(建設部長)

今のご要望について、具体的に申し上げますと、国土交通省から横断歩道を復旧すると回答をいただいた。ただ、会長がおっしゃったように、4 車線になったときに渡る範囲が長くなるので 11 号線バイパスの交通渋滞緩和のために通過コースということで設置している。私どももこういうお返事で、横断歩道を復旧するが、それが逆に今度、事故を併発することにならないかと心配もあり、今後、いろんなところで 11 号線バイパスについて信号機、横断歩道等のご要望が各地である。なかなか警察から許してもらえない状況の中で大生院に限っては復旧をするということで回答いただいている。そういうことでご理解いただければと思う。

## ■課題名 (新居浜ファミリーハイツの支援について)

(ファミリーハイツ自治会)

新居浜ファミリーハイツは新居浜の西の端に位置する 90 戸程の宅地数である。西条ファミリーハイツと接しており、新居浜、西条あわせて 280 戸程のいわゆる新興住宅地である。この懇談会においても我々自治会の窮状を伝えてきたが、現在でも、道路、上水道、下水道も新居浜市の公共のものではない。住宅地として開発、分譲した森田住宅のものである。森田住宅が 5 年前に倒産したので、正確には倒産時の社長とその母の個人所有物のままである。30 年前から新居浜市と話し合いをしてきたが、残念ながら移管には至っていない。我々が疑問に感じる一つに、同時期に開発、分譲された菟の台ハイツはインフラが新居浜市に移管されたのに、我々はなぜ取り残されたのか。我々も新居浜市民として真面目に納税しているが、公平公正な対応をされてきたのか。疑問についてはこれくらいにしておくが、ここ 3 年程、新居浜市関係部局の取り計らいもあり、自治会との間で数回の協議会が開かれ、移管に向けて少しずつ動き始めたことに住民も希望を託している。話し合いの中で次の進展が見られた。1. 上水道の直結、9 月完了の予定。2. 道路分筆に向けての地籍調査、この 7 月末開始の予定。ただし、調査で問題がなかったとしても、分筆完了は 3 年先。3. 分筆後の道路、道路下部の付帯設備移管に向けての具体策の抽出。これは話し合いが始まったばかりなので前進することを期待する。4. 下水道移管に向けての問題点の洗い出し。これも話し合いを 1 回しただけなので、前進してほしいと願う。我々は新居

浜市民であるのに、高額負担を強いられて西条側に下水を流さなければならないという辛さもわかってほしい。ここで、先程述べた上水道直結について少し補足する。今までは簡易水道という条件付きで新居浜市の水道を受水し、住宅内をポンプアップしてからの給水だった。これが9月に直結する。住民は大変喜んでいて。しかし、直結のための住民負担は1千万円を超え、あるところでは簡易水道から上水直結に変更したときの工事費は市町村が負担したという新聞記事があった。今回これだけ住民が高額負担しても上水は市への正式移管にはならない。配管がとおっている上部の道路が市へ移管されていないからという理由だそうである。協議や調査を進める中で様々な課題も見えてきた。移管に関して派生する様々な費用負担の問題、移管に関する西条市と新居浜市との行政同士のすり合わせの問題、家庭排水上管のため合併浄化槽普及率100%達成の問題、家庭排水浄化後の下水路確保に関する問題、このようにまだまだ多くの課題が残っている。課題解決に向けて自治会も現在、鋭意努力しているが、自治会住民だけでは解決するには金銭面でも技術的にも不可能。どうか移管に向けての予算措置、技術的援助等、新居浜市の更なる積極的な支援をお願いしたい。最後にもう一言だけ言わせてほしい。新居浜ファミリーハイツは愛媛県総合科学博物館と石川市長が代表を務めている東予産業創造センターの手前にある。西条側からや高速道路を使って愛媛県総合科学博物館や東予産業創造センターに行く場合、カーナビに入力するとファミリーハイツ内を通るように案内される。しかしこの道は公道ではなく私道である。石川市長もぜひ通ってみてほしい。土日や学校が休みの連休等、特に住民以外の往来が多いように見受けられる。車が多く通ることからアスファルト上のクラックも多発している。新居浜市がときどき補修してくれてはいるが、つぎはぎの補修ではなく、短い区間ごとでもいいので全面舗装の補修についても前向きに検討いただけるようお願いしたい。

(建設部長)

会長が言われたように、先日、道路の移管に向けて国土調査を開始したところである。これから先どうなるかは、今、私の立場でお答えできるものをもっていない。ただ、新居浜市としても状況はよく存じ上げているので、私どもの立場でできることを最大限その都度やっていくということしかお答えできない。先程、公平公正ということでおっしゃられたが、都市計画法で、開発の場合、公共施設への帰属については申し出があった場合は当該の市町村に属するというようになっており、それを拒否されるとこちらから市に帰属してくださいという指導ができない。萩の台については、倒産した業者から地位の継承ということで新しいところが引き継いで帰属するという手続きを行った。ファミリーハイツについてはいろいろ地元でご苦労いただいて、やっと国土調査にこぎつけたところだが、まずは国土調査をして新居浜市にどの部分の帰属をいただくかを最優先課題として精力的に取り組んでいきたいと思っているので、ご理解をお願いしたい。



### 3. その他

(質問者)

市長への手紙でも送ったが、お願いしたいことがある。渦井川の寺道橋の下の堤というのか何というのか橋の下にある五右衛門風呂みたいな感じで直径2 m、深さ1 m余りの穴が5箇所空いている。それから3段の壁がある堤防が9割方壊れている。これは愛媛県の問題になるのだが、市から愛媛県への要望をお願いしたい。素人判断だが、早期であれば費用も安く簡単にできるのではと思う。次に、先程、検診について伺ったが、74歳までということで、私は75歳は無理なのかということで伺ったがその辺どうか。

(市長)

よく調べさせてほしい。おそらくそれはないと思う。どなたでもがん検診は40歳以上なら無償としているはずである。

(質問者)

特定健診でそうしているから切り捨てることになっているのか。

(市長)

特定健診は国民健康保険なので74歳で切られていると思う。75歳以上でもがん検診は大丈夫である。また、河川のことについては調べて連絡させていただく。

(質問者)

山を持っている一人としてお願いしたいことがある。今日の出席者にも山を持たれている方はいると思う。したがって、山を見離さないようにお願いしたい。唯一、大生院で林道があるのは1本だけ。その林道大野山小又線は、市道渦井橋大野山線の終点から昔の大野山の部落へつづく林道であるが、平成16年の台風で寸断された。市道渦井橋大野山線も寸断されて復旧に何年もかかったため、その奥の林道大野山小又線が復旧できなかった。今、国も国産材自給率を50%にするといっている。これだけ大生院の山に資源がたくさんあっても道がないため木が出せない。それで今、広域基幹林道加茂角野線を整備（新居浜分の現在の開設延長は約27km）しているが、西条分は97%くらいできていることに対して、新居浜分はまだ50%も達成していないし、1本も（※1）つながっていない。そして、大生院の林道大野山小又線について確認したいが、新居浜市は前向きに復旧していくという話を聞いたがそれは本当か。今まで林道を開設したときには新居浜市の補助もいただき立派な林道ができている。大生院はこの1路線を広域基幹林道加茂角野線まで復旧できたら広域基幹林道加茂角野線は舗装できていたので、林道大野山小又線を早く復旧していただき、広域基幹林道加茂角野線へつながっていくようにお願いしたい。

(経済部長)

林道大野山小又線については、先般、国のメニューを活用して県に提案したが、東予流域の提案が採択されなかったという経過もあり今すぐできる状況にはないが、また何かメニューを見ながら復旧できないかを検討したい。いずれにしても作業道の林道がないと木材の搬出ができないので、ぜひできる方向で私どもも考えていきたいと思う。

#### 4. 全体を通しての感想や今後の思い

(市長)

皆さんからいただいたご意見、ご要望は今後の市政運営に生かしていきたい。

まず、渦井川東側の災害の場合の避難所について、できたら東側にある自治会館を自主的な避難所として市として決めていただき緊急の場合は当面そこに避難していただきたい。

次に、道路の白線とか道路に関する諸々はできるだけ早く着手したい。

最後に、ファミリーハイツの件は3年程前にここで切実な問題として聞かせていただいた。開発者の業者が倒産したため特異なのですぐに他の団地と一緒にするにはならないのだがなんとか解決する手立てはないかということで相談をさせてもらっているが、あまり進んでないというお話を聞いた。国土調査をしてみず所有を明確にしようということだが、国土調査が入ると3年間手続きがなかなか進まないということもあるので、さあどうかなということをお聞きながら思ったのと、下水と水道については近々、直圧でできるということである。下水についてももう少し早くできないか、その辺、道路や下水と個々に言ってもいけないので、全体を含めてファミリーハイツの皆さんと逐次お話ししながら早くできるようご相談させていただきたいと思うので、しばらくお待ちいただきたい。

できるものについては可能な限り早く対応し、問題があるものについては今後じっくりお話をさせていただきたいと思う。